



愛知県奥三河の観光サイト キラッと 奥三河観光ナビ



Language ▼

検索

文字サイズ：

小 中 大

人気のキーワード： 1位 [乳岩・乳岩峡](#) 2位 [鳳来寺山](#) 3位 [四谷の千枚田](#)



TOP



見る・遊ぶ・体験する



食べる・買う・作る



温泉・宿泊予約



歴史と文化



モデルコース



イベント情報



交通アクセス

検索結果：Search Result

[トップページ](#) > [検索結果・観光地](#) > 尹良親王像・川宇連神社・ハナノキ自生地

ハナノキの見頃は春と秋

尹良親王像・川宇連神社・ハナノキ自生地



豊根村ゾーン



印刷用ページ

奥三河を知る



→ [奥三河観光案内マップ](#)

→ [奥三河への交通](#)

→ [奥三河フォトライブラリー](#)

→ [奥三河動画ライブラリー](#)

→ [パンフレットダウンロード](#)

→ [関連WEBサイトリンク](#)

→ [キャラクターダウンロード](#)

↑
ページの上部へ
戻る





(像について) 尹良親王は、後醍醐天皇の皇子宗良親王の第二子に当ります。
 御生母は香坂高宗の娘とされますが皇統譜にその名著われず、伝説の親王と言われています。
 父、宗良親王は、延元（1337）の頃より南朝の征東將軍として、三遠信をはじめ各地の北朝軍と戦うも戦況利有らず、正平年間（1346～1369）信濃國伊那郡大鹿村、香坂高宗の館に身を潜め、暫く時期を伺った。
 尹良親王は、この間父親王と行動を共にしながらも数次に亘り、上野國新田莊に赴き南朝勢力の拡大を図り、上野宮とも申し上げた。
 また、天授元年（1375）寺尾城主世良田政義の女を容れ一子良王を儲ける。
 その頃、此処川宇連の地は、足助莊奥郷と称し南朝の味方であった。尹良親王は、この里に駒を進め数日逗留し馬酔木峠を越えて行った。鼓が滝で汗を流し、蘇枋の箸が根付いて「はなの木」になった等、古くから言い伝えられています。
 南朝の事蹟の多くは隠滅され、僅かに父親王が詠まれた季花集から、その一部を知ることのみである。晩年の親王は、健康が勝れず偉業半ばにして、応永（1396）のはじめに薨去されたと言われています。



観光

住所	北設楽郡豊根村坂宇場字御所平69-1	アクセス	[JR飯田線]東栄駅からバスで50分 [東名高速]豊川IC→151号線 新東名 新城 I C→151号線 車約1時間 15分 54km
営業時間	トイレ		



イベントカレンダー							
≪ 前月		2025年6月		次月 ≫			
日	月	火	水	木	金	土	
1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30						

↑
ページの上部へ
戻る



料金	クレジットカード	
定休日	バリアフリー	
電話番号	0536-85-1311	周辺施設
駐車場	なし	
ホームページ		

Webページの更新時期により、こちらに記載した内容は現在と異なる場合がございます。
念のため、新しい情報をご確認いただきますようお願い致します。

コンシェルジュからのメッセージ



豊根村の
ポンタ君

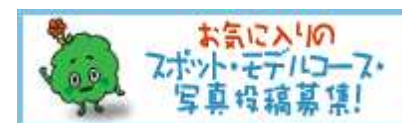
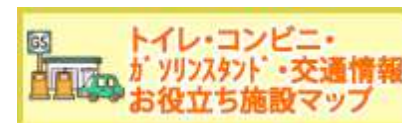
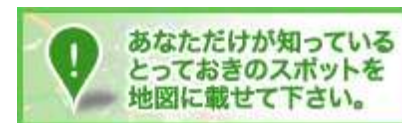
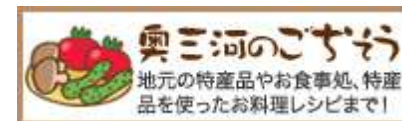
ハナノキ自生地は天然記念物にも指定されています。
みなさんも是非見に来てくださいねー！

特長



親王様の像です。

イベント一覧



湯へらんどパルと

その他はこちら

↑
ページの上部へ
戻る



ここにハナノキが自生しています



[このスポットの写真を投稿する](#)



アクセスマップ



公共交通機関でお越しの方

[JR飯田線]東栄駅からバスで50分

お車でお越しの方

[東名高速]豊川IC→151号線

新東名 新城IC→151号線 車約1時間15分 54km

Googleマップで開く



備考



(ハナノキについて) 川宇連(かうれ)神社(旧 伊良神社)の祭神は伊良親王。昭和45年10月 諏訪神社と合祀され川宇連神社と改名した。

↑
ページの上部へ
戻る



鳥居の横に解説板があるが、残念ながら文字がかすれて読み取れない（2010.7.30現在）。遠くからわざわざ訪れる方の為に、解説板はしっかりした物であって欲しい。

境内やグリーンステージ花の木一帯には、大正11年（1922）10月12日 国の天然記念物 に指定された花の木の自生地があり、4月～5月には赤い花を咲かせ、秋には紅葉となる。

「花の木」は、この地方では蘇枋（すおう）の木といわれ、親王が食事をされたとき使った箸を挿されたものが根付いて「花の木」になったといわれている。

今回訪れた時（2010.7.30）は大木が朽ち、可哀そうな姿になっていたが、新しい枝が何本も伸び、生物の逞しさを感じさせられた。

電話

豊根村役場(0536-85-1311)

季節のおすすめ情報





ポスト

いいね！ 1,580

一般社団法人 奥三河観光協議会

〒441-1318 愛知県新城市八束穂字五反田329-7

道の駅もっくる新城内観光案内所

Copyright © 2016, Aichi Prefecture. All rights reserved.

[このサイトについて](#) | [サイトマップ](#) | [プライバシーポリシー](#) | [（一社）奥三河観光協議会について](#)

